

本プログラムは、

- ◇ 欧米での科学教育カリキュラムに興味がある
 - ◇ サイエンス・ジャーナリズムに興味がある
 - ◇ 科学博物館での活動に興味がある
 - ◇ 先端科学を行っている研究室、研究者と一緒に科学教育を考えていきたい
- という方々のニーズに応えたカリキュラムです。

例えば、科学コミュニケーターは、

演劇における演出家やプロデューサーのような役割です。役者だけでは劇は成り立ちません。観客があって、そして観客の反応があってこそ役者の技も磨かれ、劇が成立するのです。役者が科学者、観客が児童・生徒、そして社会人。劇場が社会だと考えていただければ、そのような劇場の主宰者が科学コミュニケーターなのです。

募集対象

- 現職教員
 - お茶の水女子大学大学院生
(学部生も聴講出来ます)
 - 教員を目指す方、一般の方
- ※ 男性も受講できます。**
※ 都(区)立学校教員の方は教育委員会に問い合わせの上、お申し込み下さい。

詳しい申し込み手続きは、

お茶の水女子大学大学院
科学コミュニケーション能力養成プログラム
ご案内HP:
<http://www.cf.ocha.ac.jp/SEC/GP/>

お茶の水女子大学大学院 科学コミュニケーション能力養成プログラム について、詳しくは

科学コミュニケーション能力養成プログラムご案内HP

<http://www.cf.ocha.ac.jp/SEC/GP/>

履修に関しましては

お茶の水女子大学・学務課

住所 〒112-8610 東京都文京区大塚 2-1-1

(本部棟1階)

TEL/FAX 03-5978-5822/ 03-5978-5893

MAIL kyomu@cc.ocha.ac.jp

授業内容に関しましては

お茶の水女子大学・サイエンス&エデュケーションセンター

住所 〒112-8610 東京都文京区大塚 2-1-1

TEL/FAX 03-5978-5370

MAIL sec@cc.ocha.ac.jp

お茶の水女子大学：大塚キャンパスマップ



国立大学法人

お茶の水女子大学

〒112-8610 東京都文京区大塚 2-1-1

電話番号案内: 03-3943-3151



お茶の水女子大学

科学文化の**花**をさかせてみませんか

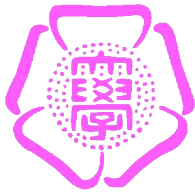
平成18年度
受講者募集案内



お茶の水女子大学大学院
人間文化研究科

科学コミュニケーション能力
養成プログラム

<http://www.cf.ocha.ac.jp/SEC/GP/>

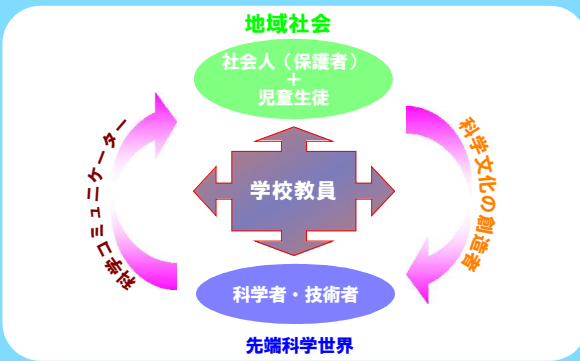


科学コミュニケーションは、 地域社会と先端科学をつなぐ架け橋です。

いま、なぜ科学コミュニケーションが教育現場に求められているのでしょうか。

子どもたちや一般の人々の科学に対する関心や興味が低下しているという傾向が、様々な報告によって示されています。日々進歩し続ける科学技術によって生活が快適に便利になっていく一方で、複雑化しブラックボックス化しつつある先端科学技術に対して、無関心さらには不信感が子どもたちや社会に広がりつつあります。

このような危機的ともいえる状況の解決には、科学技術を単なる知識・情報として伝えるだけでなく、科学における発見や技術の革新にともなう「驚き」や「感動」を伝える必要があります。さらに、専門家と一般の人々や児童・生徒との架け橋となり、双方向の交流を生み出すことのできる「科学コミュニケーション能力を持った人材」がいま求められます。



そこで、ゆたかな経験をもち、子どもたちや、地域社会に太いつながりを持っている現職の教員に、科学コミュニケーターとして活躍していただくことが、大いに期待されています。

科学コミュニケーションの3つの実践力、「深める力」「伝える力」そして「つなげる力」が身につく授業が用意されています。

このような 8つのスキル が学べます

魅せる スキル

プレゼンテーション
法研究

探究力を 育成する スキル

科学探究能力
育成特論

読み説く スキル

サイエンス・
リーディング

教材化 スキル

化学 / 数学 / 物理 /
情報科学 / 生活科学 /
生物教材開発法研究

カウンセ リング スキル

科学・倫理
カウンセリング

書き伝 える スキル

サイエンス・
ライティング

資金 獲得 スキル

科学教育企画特論

学校運営 スキル

学校運営・経営特論

教員に配慮した特色あるプログラムを実施します。

- 教員が科学コミュニケーターとして活躍するためのスキルを重視。
- 現職の教員に配慮した授業日程です。
授業は長期休暇中、土曜、休日に集中して行われます。
- 専修免許の単位を取得できる科目を用意しました。

※単位を修得を希望される場合は、本学の科目等履修生の手続きが必要になります。（平成17年度科目等履修生〔教員養成GP〕出願要項を参照）。

- 1科目から受講可能です。

※各科目ごとに受付締切日が異なりますので、必ず案内HP等でご確認ください。

- 先端科学研究で長い歴史と実績のあるお茶の水女子大学の講師陣が指導を担当します。
さらに、科学コミュニケーションの分野で活躍する現役ジャーナリストや科学博物館などの研究者から実地指導・アドバイスが受けられます。

- 受講のみの場合、受講料は無料です。

※ただし定員がありますので、受講申し込みは必須です。詳しい手続きはHP等、案内で確認ください。

本プログラムは、上記のような社会的な要請に応えるために、「教員養成GP公募」にお茶の水女子大学が提案し、採択された「科学コミュニケーション能力を持つ教員養成」事業の一環として実行されています。